

BAP認証ニュースレター

2021年12月



楽天のアースモールにBAP認証が仲間入り

「[EARTH MALL with Rakuten](#)」は、「Shopping is Entertainment!」という「楽天市場」のコンセプトを大切に、この場所に集うすべての人たち(作る人・売る人・使う人)の日常を豊かに、心地よくするサステナブルな商品を、8つの認証(MSC認証、ASC認証、FSC認証、RSPO認証、国際フェアトレード認証、有機JAS認証、レインフォレスト・アライアンス認証、GOTS認証)に基づいてセレクト。また、認証商品だけでなく、多角的な視点でサステナビリティを捉え直し、商品を拡充しながら、持続可能な社会のための新しいアイデアを出店者や消費者の皆さんとともに考えていくインターネットショッピング・モール&オンラインメディアです。

サステナブル・シーフードのページにはBAP認証も紹介されております。

EARTH MALL with **Rakuten**

EARTH MALLとは

読みもの

商品の並び方

商品を探す

03



Sustainable Seafood

サステナブル・シーフード

「サステナブル・シーフード」とは、水産資源や環境に配慮し、適切に管理された漁業で獲られた水産物、あるいは環境と社会への影響を最小限に抑えた養殖場で育てられた水産物のこと。買いものをする際、その目印となるのが、MSC認証（海のエコラベル）やASC認証といった認証ラベル。認証ラベルの付いた商品を選ぶことで、豊かな海の生態系を守るだけでなく、適正な取り組みをする漁業者の支援をすることができます。持続可能な漁業を広げ、将来の日本の魚食文化を守る「サステナブル・シーフード」。覚えておきたい大切なキーワードのひとつです。

認証ラベル



MSC認証



ASC認証



BAP認証



BAP認証のInstagramとFacebookを開設

BAP認証の一般消費者様の認知度拡大に向けて、InstagramとFacebookを開設致しました。写真中心の投稿により、多くの皆様に BAP認証について知って頂くことが目的です。開設から1週間でInstagramのフォロワー数は100人を突破しました。商品情報、レシピ掲載、消費者を巻き込むイベント等も開催したいと思えます。

以下の@部分をクリック、または画像のアカウント情報からフォローをお願い致します。

Follow Us!



[@bapcertification_japan](https://www.facebook.com/bapcertification_japan)



[@bapcertificationjapan](https://www.instagram.com/bapcertificationjapan)

GOAL国際会議で2022年の養殖水産物生産量を予測

2021年はオンラインにて開催している養殖水産物に関する GOAL国際会議が11月17日(日本時間)に最終日を迎えました。中でも弊団体とRabobankによるセッションでは、魚種、国別の養殖水産物の生産量予測を発表し、注目を集めました。

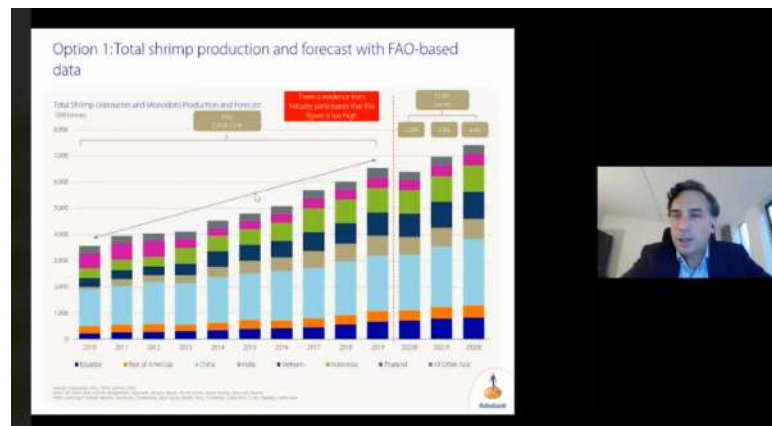
事前にご登録を頂いた方は、無料にてご覧頂けます。

登録を頂かなかった方は日本マーケット担当、芝井までお問い合わせ下さい。

<https://seafoodevent.org/meeting-dashboard/#sessions>

<予測魚種>

- ・エビ 2:02:07～
- ・サーモン 2:28:28～
- ・ヨーロッパスズキ、タイ
- ・ティラピア
- ・パンガシウス
- ・コイ



RD Fishing GroupとPacifical社がBSP認証を取得」

RD Fishing 社とPacifical社について

RD Fishing社について

フィリピンに拠点を置く、[RD Fishing Group](#)は12隻のカツオ、キハダマグロ漁船にて責任ある漁船基準 (RFVS)を満たしました。また、Philbest Canning社のツナ缶工場も加工工場基準 (SPS)を満たしました。詳しくは[こちら](#)

Pacifical社について

2011年に8つの太平洋島嶼国により設立された [Pacifical社](#)と世界水産物連盟はカツオ、キハダマグロ漁船において今後 2年で250隻、7,000人の乗組員、50の企業、10以上の旗国を対象に、責任ある漁船基準 (RFVS)の導入を進める、パートナーシップを締結したと発表しました。

詳しくは以下の記事へ

<https://www.pacifical.com/pacifical-targets-gsa-certification-to-guard-fair-conditions-for-seiner-crews/>

<https://www.pacifical.com/7000-tuna-crew-members-will-benefit-from-our-partnership-with-global-seafood-alliance/>

30施設が天然水産物に対応する加工工場基準 (SPS)を取得。
27隻が漁船上での基準 (RFVS)を取得しております。
取得した生産者の情報は [BSPウェブサイト](#) から確認頂けます。

VESSELS

RFVS (Responsible Fishing Vessel Standard)が乗組員の安全と健康と福祉、衛生環境の保障を提供します



PROCESSING PLANTS

SPS5.1 加工工場基準 がCoCと社会的説明責任を含めて包括的な保障を提供します



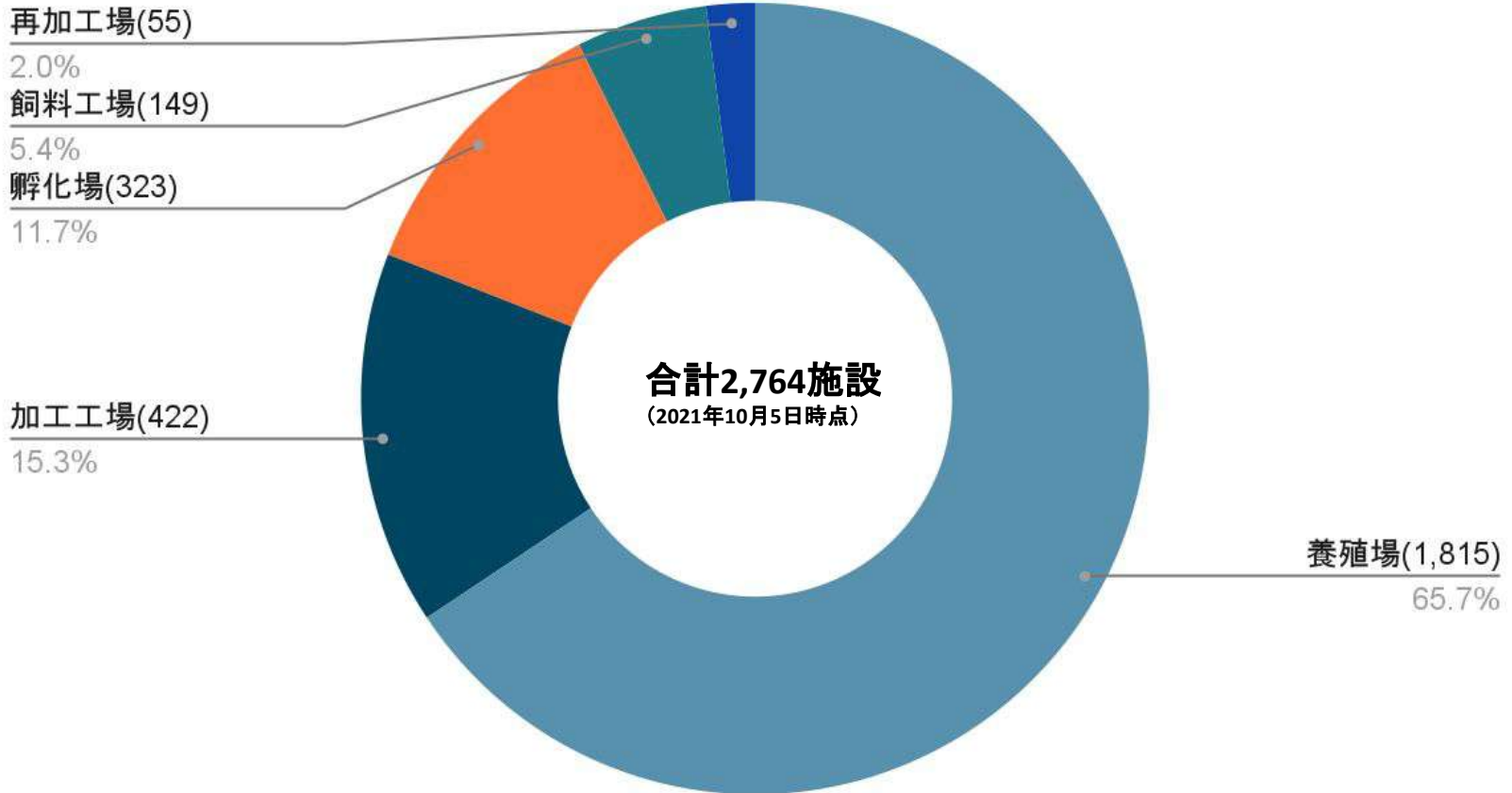
FISHERY

GSSIのベンチマークを受けた
第三者認証との協働(例: MSC
など)

世界での認証施設数

現在システム改訂中のため、こちらのページは先月と同じものです。

世界でのBAP認証施設数(2021年10月5日時点)

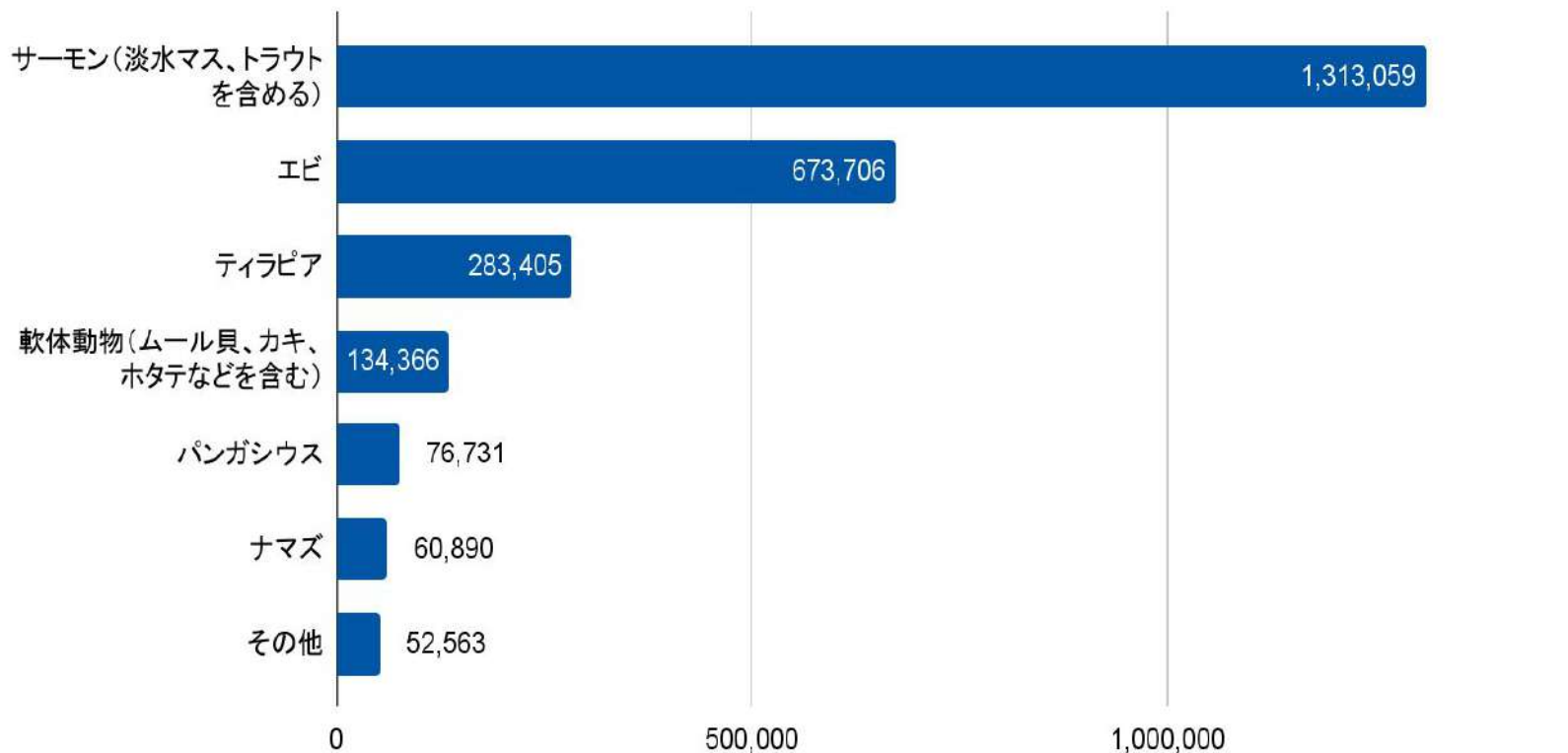


2021年10月5日時点のBAP認証施設数は2,764軒です。
※こちらの数字は各施設の直近の監査結果より集約されております。

魚種別の認証生産量1

現在システム改訂中のため、こちらのページは先月と同じものです。

2021年10月5日時点（単位:トン）



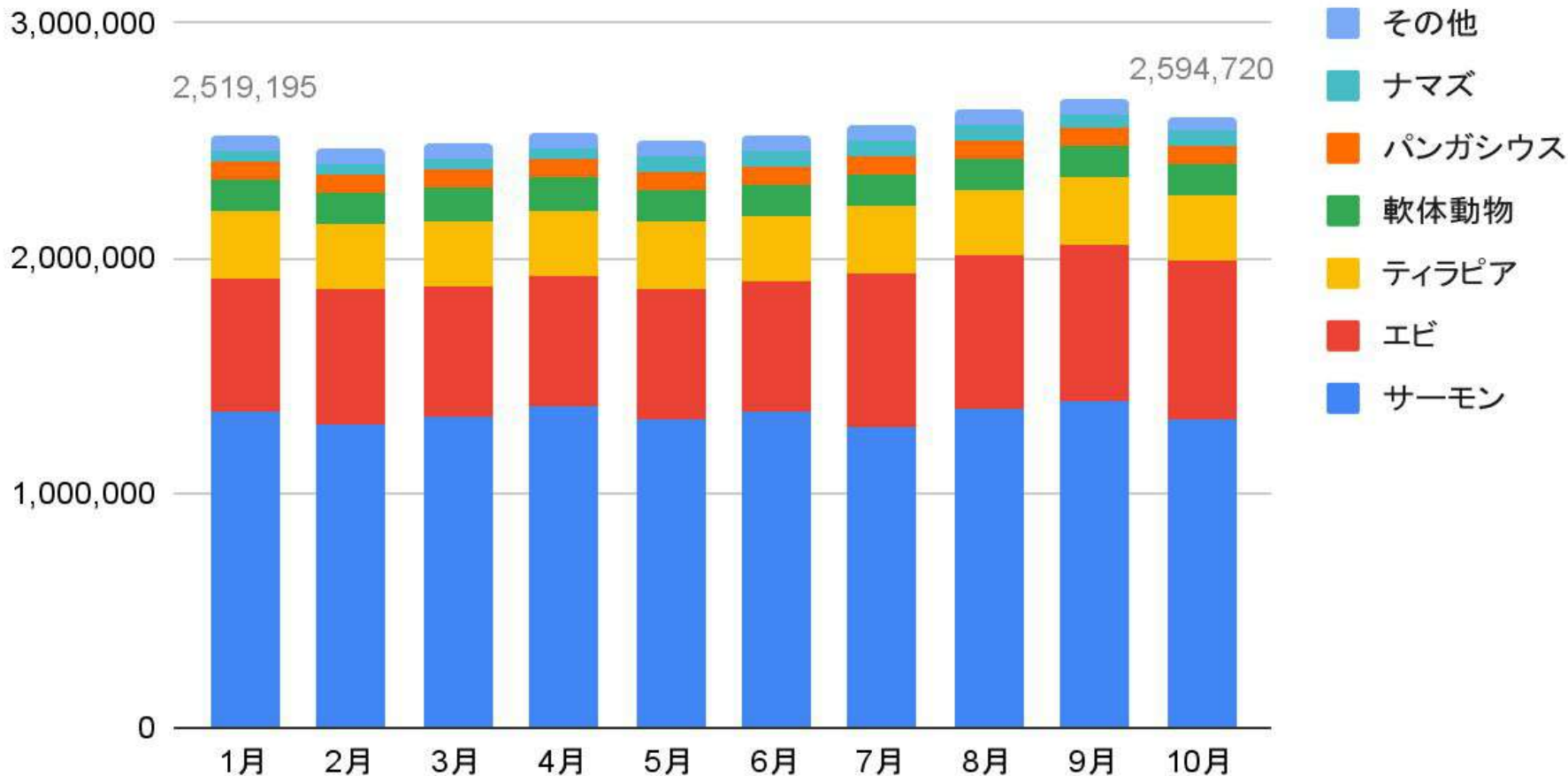
2021年10月5日時点、BAP認証水産物の世界合計は **2,594,720トン**です。

※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。
基本的には2020年1月～2020年の12月まで(カレンダー一年)の生産量になります。

魚種別の認証生産量2(年間の推移)

現在システム改訂中のため、こちらのページは先月と同じものです。

2021年10月5日更新(単位:トン)



※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。
基本的には2020年1月～2020年の12月まで(カレンダー一年)の生産量になります。

BAP認証フェアの企画大募集中です！

BAP認証を運営するGSAではマーケティングサポートも積極的に行っております。
共同でのイベントをご希望の方は日本マーケット担当芝井までご連絡下さいませ。
それぞれのイベントのご要望に合わせて打ち合わせをさせて頂き、必要に応じてポスター、ポップ、
その他ビデオ、ステッカー等々を 無料にてデザイン、納品 致します。
※必要枚数の印刷に関しては各企業様でご負担を頂きます様お願い致します。



Front (4" x 6")



Back (4" x 6")



マーケティングサポート用にご用意ができる資料は以下をご参照下さいませ。

<https://drive.google.com/file/d/1COWGrAKVCVoEldZzmsOcSIXJZHcQ5-5h/view?usp=sharing>

マーケットとして導入しやすいBAP認証

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象になり、年に一度の監査が必要になります。商品の加工が発生しないサプライヤー、小売、社員食堂やレストランなどのフードサービスはエンドーサー合意書の締結のみで、無料でBAPロゴの使用やリリース、レポート等での発信が可能になります。

特例1: 個別包装された商品を開封、再梱包またはラベルの張り替えをせず、商品の梱包やラベルをそのままの状態での流通する場合について。その施設は加工工場認証の取得対象外になり、エンドーサー合意書の締結のみ必要となりBAPロゴ付き商品として、そのまま販売して頂けます。

特例2: 最終消費現場での商品の加工、調理、再包装、またラベル張り替えをする場合は加工工場認証の対象外となり、エンドーサー合意書の締結のみでロゴを使用いただけます。(スーパーのバックヤード加工、飲食店・レストラン・ホテルの調理場加工など。)

また、複数の水産物を使用した製品に関して、使用された一部の水産物がBAP認証であればロゴマークを使用することができます。可能な限りどの水産物がBAP認証なのかを明記してください。

詳しくは<https://japan.bapcertification.org/Marketing>よりBAP認証ロゴガイドラインをご参照ください。

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象となります。

BAP認証水産物を販売促進または購買支援する企業はエンドーサー契約の対象となります。



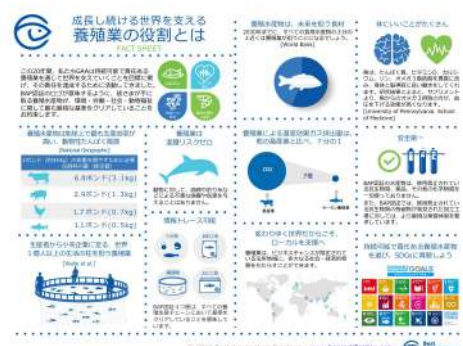
BAP認証の日本語版の各種資料について

BAP認証に関する日本語の三つ折りパンフレットや、各種資料を以下のリンク先より無料ダウンロードすることができます。是非ご活用下さいませ。

<https://japan.bapcertification.org/Marketing>



GAAとBAP認証のご案内



養殖漁業ファクトシート



BAP認証ロゴマーク使用ガイドライン



2020年次レポート

BAP認証の日本語ロゴについて

BAP認証の日本語版ロゴを用意しております。
利用をご希望の方は芝井までお問い合わせください。
kota.shibai@globalseafood.org



魚と人の
未来のために



責任ある
養殖水産物の
国際基準




国際基準を満たした環境で
養殖されています



海と魚を守る安心の
BAPマーク



きれいな海で獲れた健康な
魚介類の証



BAP認証ニュースレターに関する
お問い合わせは以下までお願い致
します。
※二次利用をご希望の方はお問い合わ
せ下さいませ。

BAP認証日本マーケット担当
芝井幸太

メールアドレス：
kota.shibai@globalseafood.org

電話番号：
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。